

岩手県における東日本沿岸被災地の社会福祉施設実態調査

藤野好美・三上邦彦・岩渕由美・鈴木聖子¹⁾・細田重憲²⁾

1. 研究目的

本調査の目的は、岩手県沿岸地域の福祉施設における東日本大震災による被害の状況やその後の状況について把握し、震災の記録として後世に残すと共に、被災時のニーズについて明らかにし、今後の災害に対する備えやこれからの福祉施設のあり方を再考することにある。

具体的には岩手県内の沿岸12市町村（宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町）を所在地とする児童、障害、高齢者福祉施設に、震災時及びその後の状況についてアンケート調査を実施することにより、震災時に職員自らも甚大な被害を受けながら、どのような思いや方法で地域の社会福祉施設として機能し、その役割を担うことになったのかを明らかにするため、社会福祉士施設・事業所で勤務している職員に、現在から過去にさかのぼっての被災の状況や当時の勤務状況、震災に対する思いなど、一部、時系列を意識した形での調査を実施した。調査を通して、福祉専門職としての職員の行動や思いを震災の記録として後世に残すとともに、当時職員が置かれていた状況や感じていたストレス・不安を明確にし、今後の災害や緊急時の対応も視野に入れた施設体制や職員へのサポートについて検討する。

本研究で行った調査は、「施設調査票」と「職員調査票」の2部にわかれて行っており、前年度までは「施設調査票」の調査結果を中心にまとめていたが、本年度は「職員調査票」の結果を中心にまとめている。

2. 研究方法

郵送による質問紙調査を行った。調査対象施設は、平成24年2月1日時点で県ホームページに掲載されている情報をもとに、被災地域の児童福祉施設7ヶ所（入所施設3ヶ所、通所施設4ヶ所）、障害者福祉施設については62ヶ所（入所施設23ヶ所、通所施設39ヶ所）、高齢者福祉施設については203ヶ所（入所施設84ヶ所、通所施設119ヶ所）、総計272ヶ所の事業所である。職員が30人以上いる施設には10人分、職員が30人以下の施設3人分、調査票を送付した。調査期間は平成24年3月1日から3月31日である。

114ヶ所の事業所から返送があり、469人の施設職員からの回答を経た。回収率は、返送されてきた施設からみると41.9%であった。

3. 研究結果

回答者の所属する施設種別は入所施設が5割以上、

通所施設は1/4を占める。回答者の男女比は女性7割、男性3割であった。年齢構成は各年代2割～3割に分散しているが、20代、60代は1割前後となっている。また回答者の7割が正社員で3割が非常勤やパートである。業務内容は6割がケアスタッフで、管理者、主任クラスの人が3割であった。勤務年数は分散していた。

震災後のストレスや不安が高かったのは、「身体的負担や疲れ」「夜勤時に何かあったら」「日常生活が崩された喪失感」「今後の生活の不安」である。1年後には全体的にストレスや不安の割合は減っているが、「夜勤時に何かあったら」「今後の生活の不安」は高い。全体的に身近な人を亡くした人のストレス、不安が高い。特に「身体的負担感・疲れ」「日常生活が崩された喪失感」「今後の生活の不安」「家族を亡くした喪失感」については顕著である。1年後には、全体的なストレス・不安の割合は減るものの、自宅が被災した人のストレス・不安は高く、そうでない人との差が顕著に現れてくる。

管理者・管理職の「仕事量の負担」「休日がとれない」のストレスの割合が高く、「指示系統の乱れ」「避難住民への対応」「行政・支援団体とのやりとり」「家族の理解」についても比較的高い。1年後には全体的なストレス・不安の割合は減るが、管理職との職位のない職員の「今後の生活の不安」「日常生活が崩された喪失感」の割合は高いままの状態である。

4. 考察

東日本大震災は日中に起きた災害であり、入所施設はもとより通所施設でもサービス提供中の時間帯であった。当時、職位なしの職員が多数を占めていたというのは、状況判断に困ったことがうかがえる。家族や親族を亡くした人は少ないが、半数以上の職員が友人を亡くしており、自宅が流失・全壊した人も17.7%いた。「夜勤時に余震や何かあったらという不安」「職員間のイライラ・衝突に対するストレス」「指示が不十分なことへのストレス」「行政や支援団体へのやりとりへの負担感」が増しているというのは、震災1年経った後も被災地域に大小様々な混乱があり、その対応に追われること、職員自身が震災の不安が癒えていないことがうかがえ、職員へのサポートを含む、生活環境を整え不安を軽減していくためのマネジメントの必要性を示唆している。

なお、本調査結果は『岩手県における東日本大震災沿岸被災地の社会福祉施設実態等調査（職員調査）報告書』にまとめられている。

1) 日本赤十字秋田看護大学 2) 元岩手県立大学